

# 令和7年度 看護進路相談会 実施報告

公益社団法人 宮崎県看護協会

## 1. 概要

目的：保健・医療・福祉の分野でますます看護の要請が高まっており、看護人材の確保が重要となっている。そこで、社会人、中高校生および保護者、進路担当の先生を対象に、看護教育や県内看護師等養成所に関する情報を提供し、適切な看護進路選択の一助となることを目的に開催する。

日時：令和7年6月29日（日） 13：00～16：00 （受付12：30～15：30）

会場：宮崎県防災庁舎（5階）（〒880-8501 宮崎市橘通東2丁目10番1号）

内容：出展校16校による学校別説明会および個別相談、現役看護職との個別相談

対象：看護職に興味・関心がある中高生と保護者、社会人、進路担当教諭等

定員：200名（事前予約制）

主催：宮崎県／公益社団法人宮崎県看護協会 後援：宮崎県教育委員会／宮崎市／宮崎県医師会

## 2. 参加状況

表1 参加者の内訳

区分	人数	備考（内訳）
中学生（9校）	26名	1年：0 / 2年：2 / 3年：24
高校生（24校）	99名	1年：9 / 2年：22 / 3年：68
中高生保護者	81名	中学生：23 / 高校生：58
一般	8名	一般来場者
一般の保護者	2名	一般来場者に同伴の保護者
教諭	0名	
合計	216名	中高生125名＋一般8名＋保護者83名

※R6年度参加者合計：156名（うち、中高生100名）

## 3. 各種相談

表2 ブース別相談者の人数

	なんでも相談	保健師ブース	助産師ブース	看護師ブース
相談者数	7名（5組）	20名（11組）	39名（18組）	40名（19組）

相談者合計 106名（53組）

## 4. 出展校別訪問者数（シールラリー集計結果より）

1人あたりの平均学校訪問数：3.7校

## 5. 参加者アンケート結果

①対象：参加した中高校生、一般（133名）

②回収状況：回収数 118（回収率 88.7%）

③集計結果

表 4 回答者の内訳 単位：人

中学生	高校生	一般	無回答
24	88	5	1

### (1)進路希望

表 5 現在の進路希望について（n=118）単位：人

	回答数
1) ぜひ看護職を目指したいと思っている	90
2) 看護職を目指したいが迷っている	12
3) 決まっていないが看護職に関心がある	10
4) 看護職以外の進路を目指している	3
5) まったく決まっていない	1
無回答	2

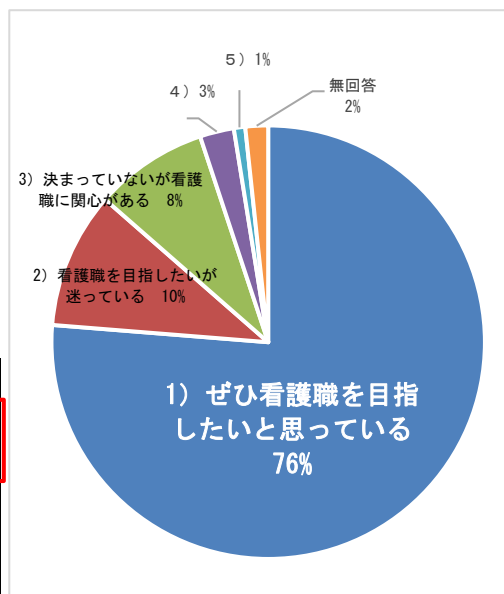


図 1 現在の進路希望

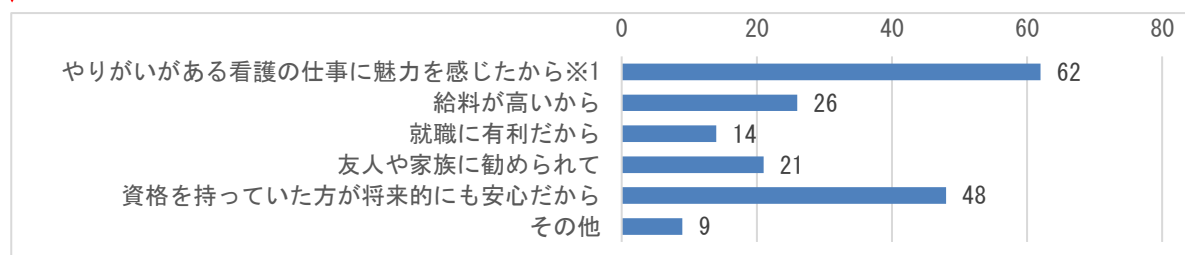


図 2 看護職をめざす理由※複数回答（表 5 で 1) 2) と回答した 102 名が対象）単位：人

※1：「やりがいがある看護の仕事に魅力を感じたから」の理由についての自由記載（n=57）

→類似意見ごとに分類し、一部抜粋（原文のまま）

#### 1. 人の役に立ちたい・助けたい（思いやり・使命感） 25 件

- ・患者さんに寄り添いたいという思いを一番かなえることが出来る大変すばらしい職業だと思ったため
- ・感染症などがはやる中でも、患者さんのサポートを優先する姿勢は思いやりがあり、自分を高める活動であると感じたから
- ・人を助けて笑顔になってもらえると思うから

#### 2. 医療・看護職への憧れ・興味 7 件

- ・自分が看護してもらった経験から憧れたから
- ・人と接するのが好きで…やりがいを感じられると思ったから

#### 3. 家族・身近な人の影響 10 件

- ・祖父が看病されている姿を見て、だんだん元気になっていく姿を見て、看護師さんの声かけや手当てがすごいと思ったから
- ・母と姉が看護師

#### 4. 看護師の仕事の魅力 6 件

- ・いつの時代でも必要とされる仕事だと思ったから
- ・チームで協力し、患者さんを細かい所までサポートするから

5. 災害・地域医療への貢献 3 件  
・危険な現場においても看護師として…人の命を救う姿がかっこいい
6. 進路相談会や話を聞いて 3 件  
・今日の話を聞いて”看護師”になりたいという気持ちが強くなった
7. 命の誕生に関わりたい（助産師志望） 3 件  
・人の誕生に立ち会いたいと思ったから

(2) プログラムの理解度

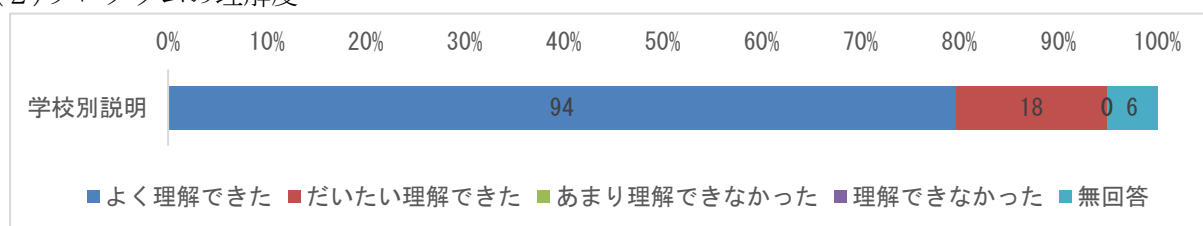


図3 「学校別説明」について4段階評価（人） n=118

(3) 取り扱ってほしいテーマについての自由記載

表6 看護進路相談会に希望する内容（類似意見別）

n=54

内容	件数	内容の抜粋
現役看護学生・現役看護師の話	20	「現役看護学生の話」「現役の方のお話」「リアルな話」「学生の1日」など
特定職種・分野の紹介	15	「フライトナース」「助産師」「ドクターカーの看護」「救急救命士」「保健室の先生」「訪問看護」など
看護の仕事の理解を深める内容	10	「看護師の仕事」「看護の資格の活かし方」「診療科の説明」「1日のルーティン」など
進学・進路選択に関する内容	5～1	「大学と専門学校の違い」「入試」「奨学金」「給与」など
災害・国際看護などの特殊分野		「国際看護」「災害派遣」など
養護教諭について		「養護教諭について知りたい」
過去問・資料提供		「入試の過去問が欲しい」

(4) 感想（自由記載）の結果

表7 看護進路説明会に対する感想における自由記載（類似意見別）

n=108

内容	内容の抜粋
楽しかった・良かった	「楽しかった」「とても良い機会だった」「来てよかった」など
詳しく知れた・理解が深まった・わかりやすい	「パンフレットだけではわからないことが聞けた」「詳しく知れた」など
進路の参考・学びになった	「進路を決める参考になった」「学びが多かった」「知ることができた」など
たくさんの学校の説明を聞いた	「いろんな学校の話聞いてよかった」「視野が広がった」など
丁寧に対応してもらった	「1つひとつの学校がていねいに説明してくれた」「どの学校の方々もたくさん質問に答えて下さった」など
個別相談が役立った	「個別に質問できた」「相談できたのがよかった」など
意欲が高まった	「より一層看護師になりたいと思った」「意欲が高まった」など
新しい発見があった	「初めて知ることが多くてよかった」「調べても出てこない話が聞けた」など
その他	「ブースに自分のタイミングで参加できるのが良い」「将来について自信をもてるようになった」など

(5) ふれあい看護体験について

表8 ふれあい看護体験の認知度 n=118

ふれあい看護体験を知っている	72
ふれあい看護体験を知らない	31
無回答	15

表9 ふれあい看護体験の参加について n=72

参加したことがある	23
参加したことがない	5
今年参加する	42
無回答	2

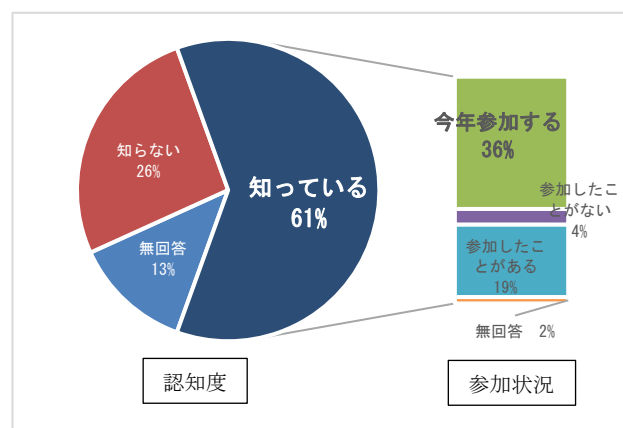


図4 ふれあい看護体験の認知度と参加状況

## 6. まとめ

看護進路相談会は平成6年度にスタートし、看護進路選択を支援する事業として毎年開催しており、令和7年度で31回目を迎えた。今年度は「宮崎県防災庁舎（宮崎市）」を会場とし、過去最多となる県内16校が出展した。会場では、学校別の説明会に加え、現役の保健師・助産師・看護師による相談コーナーを設け、看護職の現場の「リアル」が伝わる、多様な情報の提供につながった。広報は、学校や教育委員会を通じた案内に加え、県政掲示板やナースセンターLINE、当会ホームページ、県のSNSを活用し、幅広い層に発信した。その結果、216名（中高生125名、保護者83名、

一般8名)が参加し、昨年度(156名)を大きく上回った。

アンケートでは、「ぜひ看護職を目指したい」との回答が76%で、「人の役に立ちたい」「やりがいを感じる」といった動機が多く寄せられた。また、ブース訪問を促すために実施したシールラリーの効果もあり、参加者は1人あたり平均3.7校を訪問するなど、積極的に情報収集する様子が伺えた。さらに、現役看護職から直接話を聞ける相談コーナーには106名(53組)が参加し、看護職への関心の高さと進路選びに対する前向きな姿勢が感じられた。

参加者からは「看護職をより身近に感じた」「進路を考える良い機会になった」といった声が多く、今後は「現役看護学生の話」や「専門職の紹介」などの要望も寄せられた。

今後も参加者の声を反映しながら、看護職の魅力発信事業を強化し、進路選択の早期段階から看護職を意識できる機会を創出し、看護人材の確保と志望者の増加を目指していきたい。



学校ブース



学校ブース



3職種相談コーナー



受付・交換所